

## 令和3年度 射水市食育推進会議 会議録

日時 令和3年11月4日（木）午後1時30分から2時30分

場所 射水市大島分庁舎3階大会議室

出席者 射水市食育推進会議委員〔7名 犀藤委員欠席〕

木田委員、亀谷委員、赤尾委員、稲垣委員、尾上委員、尾山委員、加治委員

射水市食育推進会議幹事会〔11名〕

小見福祉保健部長、北福祉保健部次長、京角市民生活部副参事・環境課長、米屋政策推進係長、

星野生活安全課長、明保険年金課長、大居子育て支援課長、高岡保健センター所長、

久々江港湾観光課長、遠藤農林水産課長、中川学校教育課長

事務局〔5名〕

宮本保健センター所長補佐、坂本係長、山口主査、高原主任、落合管理栄養士

---

### 議 事

#### (1) 会長・副会長の選出について

会長に木田委員、副会長に亀谷委員を選出。

#### (2) 射水市の食育関連事業の実施状況について（資料1・資料2・資料3を説明）

意見交換、質疑応答

##### 【委員】

それぞれ担当課では実施したことについて評価はしているか。計画をした以上はなんらかの形で評価があると良い。

##### 【会長】

例えば資料3の2ページ、保険年金課のフレイル予防について、2回目の教室で皆さんが良くなっているといった形での評価があるのは良い。4ページでは児童の感想があり、このようなものがあるのも分かりやすい。また、いろいろな報告をみると、写真があるのは様子が分かるので良い。

##### 【会長】

医師会として関わっているところで資料2、6ページのすこやか教室は、令和3年度も中止の予定。この教室は射水市内の4年生が肥満度を確認し、なおかつ採血して要医療や要指導といった結果を出す。要指導の方はすこやか教室に来てもらい、ドクターの相談や栄養指導をする形だったが、残念ながらこのコロナ禍で集まって話をするというのを避けるため中止した。子ども達は肥満度50など30パーセント以上が要医療だが、50というのは重度で、コロナで閉じこもり、肥満度が上がっていることが全国的に小児科で問題になっている。やはり食事と運動に気を付けていくのは大切なことなので、学校などを通じて食事、運動の指導についてお願いしたい。

##### 【委員】

漁協では昨年はできなかったが、今年はカニ給食をした。

子どもたちが楽しみにしているという声をきくと励みになる。行政や色々なところに助けてもらい実施でき、ありがたい。

**【会長】**

カニ給食前にはカニ、エビのアレルギーが無いか調べにくる子がいる。

**【委員】**

昔はアレルギーがわからず、何でも食べなさいと言って食べさせられたものだが、今は何でも食べるものがあるし嫌ならやめなさいと言っている。昔はアレルギーの話は聞かなかった。

**【会長】**

昔はおなかの中に蟯虫がいて、アレルギーどころではない異物があつたのでアレルギーは少なかった。今はすごく安全に育てられている。私たちが小さい頃と今の子どもたちは育てられ方が違う。

**【委員】**

資料2の2ページ農林水産課の鮎とかクロダイの放流について、今年の春先に黒部では保育園や小学生が放流しているニュースがあつたが、射水では中止になっている。

**【農林水産課長】**

例年の通年事業としては予定していたが、放流時に子供たちが密になるため、今年度はコロナの状況をみて中止した。ヒラメやクロダイ、鮎の放流は通年事業として例年行っている。来年度は状況がおさまれば実施したい。

**【会長】**

コロナウイルスの付き合い方が1年1年違ってくる。12歳未満のお子さんたちのワクチンの状況でまた変わってくるかもしれない。実施主体のところを判断していくのだと思う。

**【委員】**

学校の現場から話すと、今ほどあつたようにコロナの状況によっていろいろな学校の活動を動かしたり止めたりの連続だった。なので、いろいろな計画を立てている中でも、なかなか計画通りやれるとは限らない。給食は食育の中でも中心の事柄だと思うが、今までは子供たちと食事を囲んで話しながら楽しく食べていたが、今はみんなが前を向いて黙って食べているというような状況。だから給食を囲んで楽しい時間を過ごすというのは難しい状況の中で子どもたちは過ごしている。

その中でも先ほどカニ給食の話題があつたように、本当に立派なカニを食べさせていただき、子供たちも本当に楽しい時間を過ごすことができ、大変喜んでいた。

それと併せて、学校教育課のサクラマスPR事業のように、今年度は地場産のものを食べさせていただき、放送等で紹介することで子供たちの学びがあり、食育と共にふるさと学習にもつながり大変ありがたかった。こういうことが多く続くことによって地域を愛し、地域を誇りに思う、そんな子どもたちが育っていくと思う。

**【委員】**

学校給食では昨年度、富山県産の和牛、ブリ、シロエビ、ホタルイカなどいろんなものを無償提供していただき本当に豪華な学校給食だった。今年度はサクラマスの無償提供もあつたが、無償の時だけじゃなく、今月はサクラマス为学校給食に取り入れている。これからも地場産品を積極的に取り入れていきたい。

### (3) 射水市食育推進計画の数値目標について（資料4を説明）

#### 意見交換、質疑応答

##### 【会長】

40歳から74歳のメタボリックシンドローム、KDBシステムの数字の出し方を簡単に教えてほしい。これは毎年数値が出てくるのか。

##### 【事務局】

KDBシステムは国保データベースシステムのことで、健診を受けられた方の結果がすべて入っており、そこから出した数字。毎年結果を出すことができる。

##### 【会長】

乳幼児健診の両親の朝食の結果だが、この世代の他の方はもっと食べない人が多いのではないかと思う。朝食を毎日食べている子どもの割合の目標は100パーセントだが、現実的には無理だろう。学校保健会では数字はもうちょっと低いので、とり方によって数字は変わってくる。学校保健会による取組みは定期的にやっているのだから、それなりに結果は出てきているのかと思う。

##### 【委員】

この結果は「毎日食べている」と「だいたい食べている」のを足した数値のようだ。

##### 【会長】

本日のまとめとして、報告には写真を示してあると内容が分かりやすい。また、活動の後の評価があると分かりやすい。ただし、コロナで事業の評価に影響があり、例年と比較基準が変わることがあるので、気を付ける必要がある。